

研究協力をお願い

市が尾病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期リハビリテーション病棟において リハビリテーションのアウトカムに及ぼす薬学的要因の探索	
1. 研究の対象および研究対象期間	2016年4月1日～2022年3月31日に当院回復期リハビリテーション病棟を退院し、薬物療法（内用・外用）を受けられた方
2. 研究目的・方法	<p>超高齢社会のわが国では、多剤併用を含めた医薬品の適正使用が課題となっています。リハビリを実施する上でも、リハビリと薬剤を一緒に考えて高齢者の機能・活動やQOLを最大限高める「リハ薬剤」の視点が必要といわれています。</p> <p>今回、回復期リハビリテーション病棟入院患者様のデータを基に、入院から退院までの処方薬剤と機能的自立度評価表（functional independence measure:FIM）との関連性を後方的に調査することにしました。最終的にはリハビリ効果を最大限引き出すために、医薬品の適正使用を推進することを目指したいと思います。</p>
研究実施期間	2020年1月27日（承認）～2023年3月31日
3. 研究に用いる情報の種類（いずれも通常診療範囲内）	<p>情報：・年齢、性別、BMI、疾患（合併症を含む）、在院期間、腎機能（CCr） ・持参薬を含む入院中の処方薬剤（薬剤数、睡眠薬、抗コリン作用のある薬剤） ・入院時と退院時の運動FIMおよび認知FIM</p> <p>解析：上記データを匿名化・数値化した上で、大学研究室において統計解析を実施しますので、個人情報外部に漏れる心配はありません。</p>
4. お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>情報が当該研究に用いられることについて患者さん、もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：	
所属：市ヶ尾病院薬剤科	薬剤科長：大隅 寛之
住所：〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 23-1	電話番号：045-511-7811
統括研究責任者：	
所属：昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門	教授：岸本 桂子
	電話番号：03-3784-8774